

|             |
|-------------|
| 記 者 会 見     |
| 2 . 1 . 1 0 |
| 資 料 1       |

## 秦野市長 令和２年 年頭所感

### ～魅力あふれる「ふるさと秦野」を目指して～

昨年、平成から令和へと新たな時代の節目を迎えました。

本市では、消防署西分署や秦野駅北口広場のリニューアルなど都市基盤の強化を図ったほか、重点事業の一つとして掲げている中学校完全給食の実施や、多岐にわたる市政の課題解決に向けて、着実に歩みを進めてまいりました。

さらに、本市にも被害をもたらした台風や大雨への対応を迅速に行い、安全で安心な暮らしの確保に努めてまいりました。

さて、令和２年度は、「総合計画後期基本計画」の総仕上げの年となります。

そこで、未来へつなぐ５つの重点事業を始めとする重要施策を、スピード感を持って実行し、時代の変化にも的確に対応しながら、新総合計画を見据えた予算づくりに取り組んでおります。このような中で、現下の本市の財政状況を申し上げます。

まず、歳出面では、超高齢社会を迎え、介護保険や後期高齢者医療に係る特別会計への繰出金が増額となる見込みです。加えて、幼児教育・保育の無償化による子育て施策の充実などにより、依然として社会保障費は増え続ける状況にあります。

一方、歳入面では、景気回復の動きが力強さを欠くため、市税全体では減収するものの、国からの普通交付税や地方消費税交付金の増額が期待できることから、一般財源総額は、元年度当初予算と同程度を確保することができると見込んでおります。

こうした状況を踏まえると、２年度の一般会計予算の規模は、現時点の概算ですが、前年度を上回る見通しです。

中でも、令和元年度に創設した、「秦野みらいづくり特別枠」の取組をより具体化するため、予算を重点的に配分する予定です。

まず、「新東名・２４６バイパスの最大活用」に関する施策です。

４月には県立秦野戸川公園内にボルダリング施設「はだの丹沢クライミングパーク」がいよいよオープンいたします。県のリード・スピード施設と合わせ

ると、国内でも有数の規模となり、雄大な表丹沢をバックにスポーツライミングが楽しめるようになります。

また、新東名高速道路が開通すると、本市の交通アクセスは格段に向上することから、最大の地域資源である表丹沢を舞台に展開する様々な取組を効果的に推進するため、交流人口の増加や地域における消費拡大に結び付ける「（仮称）表丹沢魅力づくり構想」を策定し、観光や産業などの地域振興を図ります。

次に、「小田急4駅周辺のにぎわい創造に向けた取組」に関する施策です。

温泉、大学、市の玄関口、表丹沢などの4駅それぞれの特性や地域資源を生かしたにぎわいを生み、地域経済の好循環につなげるための仕掛けづくりに取り組めます。

中でも、秦野駅周辺では、歴史という点にも着目し、近代建築物の国登録有形文化財への登録を目指し、商店街とも連動した楽しい「まち歩き」につながるよう努めてまいります。

その他、2年度予算の特徴的な取組として、東京オリンピック・パラリンピックを身近に感じていただくためのイベントを開催するほか、相次ぐ自然災害に備えるための予防保全対策に力を入れてまいります。

そして、冒頭に申し上げましたが、私が市長に就任してから重点的に取り組んでいる「中学校完全給食」については、令和3年12月の提供開始に向け、中学校の設備改修も含めて、着実に取り組んでまいります。

以上が現時点における令和2年度予算の編成状況ですが、詳細は、次回の記者会見で発表させていただきます。

ぜひ本年も、秦野市の魅力が増していく姿を大いにご取材いただきますようお願いし、年頭所感とさせていただきます。